

令和5年度 シラバス 【国語】

科目名		単位数	学年	使用教科書	使用副教材	
現代の国語		1	2	2 東書現国 7 0 3 現代の国語	現代の国語 学習課題ノート 基本の現代文 3 ステップオリジナル問題集 1	
◇科目の概要と目標						
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を養う。						
1 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解して適切に使うことができる。						
2 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。						
3 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
◇科目の観点別評価の目標						
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
月	4 月		5 月		6 月	7 月
科目名	単元		単元	中間 考査	単元	単元
現代の国語	視点を変える 「技術が道徳を代行するとき」		視点を変える 「技術が道徳を代行するとき」		言葉へのまなざし 「言葉は世界を切り分ける」	言葉へのまなざし 「言葉は世界を切り分ける」
知識・技能	・常用漢字の読みになれ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っているかを評価する。 ・語句の意味を調べ、実社会において理解したり表現したりするために必要な語彙の量を増やし、話や文章の中で使っているかを評価する。 ・具体例とその一般化の関係を確認しながら読み進め、筆者の主張となるキーセンテンスを発見しているかを評価する。		単元 読解編 1「技術が道徳を代行するとき」の語句に関する問い約30点分		・常用漢字の読みになれ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っているかを評価する。 ・語句の意味を調べ、実社会において理解したり表現したりするために必要な語彙の量を増やし、話や文章の中で使っているかを評価する。 ・「システム」という概念語について辞書的な意味だけでなく、本文中での使われ方を理解しているかを評価する。	
思考・判断・表現	・疑問を含む表現を用いて問題提起をしたり、譲歩する表現を用いて想定される反論に応えた利していることを理解し、表現効果について理解しているかを評価する。 ・「読むこと」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら筆者の意図を考えることができるかを評価する。 ・「技術」と「道徳」の関係を本文の論旨をもとに読み取っているかを評価する。		単元 読解編 1「技術が道徳を代行するとき」の内容に関する思考問題、判断問題約70点分		・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、段落の要点を把握しているかを評価する。 ・具体例とその一般化の関係を確認しながら読み進め、筆者の主張となるキーセンテンスを発見することができるかを評価する。 ・文章と図表を関連つけながら筆者の主張を理解し、説明しようとしているかを評価する。	
主体的に学習に取り組む態度	・粘り強く本文の要点を把握しようとしているかを評価する。 ・本文に沿って設けられた学習課題に主体的に取り組もうとしているかを評価する。 ・「道徳を技術で置き換えることの危なさ」を人間社会の中で考えることができ、自分の考えをまとめ、伝えようとしている。		考査に向けての取り組みが見られない場合に限り、評価に反映		・粘り強く本文の要点を把握しようとしているかを評価する。 ・本文に沿って設けられた学習課題に主体的に取り組もうとしているかを評価する。 ・本文内容の理解を踏まえて言葉の働きについて自分の考えをまとめ、説明しようとしている。	
月	7 月	9 月		1 0 月		1 1 月
科目名	単元	単元		中間 考査	単元	単元
現代の国語	新聞記事を基に問いを作り、意見をまとめる	メディアを考える 「広告の形而上学」			共に生きる 「自立と市場」	共に生きる 「自立と市場」
知識・技能	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っているかを評価する。 ・文、話、文章の効果的な組み立てや接続の仕方について理解しているかを評価する。		・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文章の中で使っているかを評価する。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語彙の量を増やし、話や文章の中で使っているかを評価する。		単元 読解編 3「広告の形而上学」の語句に関する問い約30点分	
思考・判断・表現	・「書くこと」において、目的や意図に応じて実社会の中から適切な材料を集め、情報の妥当性や信頼性を吟味しているかを評価する。 ・「書くこと」において読み手の理解が得られるよう文章を展開しているかを評価する。		・引用や具体例とその一般化の関係を確認しながら読み、筆者の主張となるキーセンテンスを発見し、説明できるかを評価する。 ・筆者の主張する広告の「形而上学的な奇妙さ」について広告と商品の関係を踏まえ、生み出す価値について自分の考えをもつことができるかを評価する。		単元 読解編 3「広告の形而上学」の内容に関する思考問題、判断問題約70点分	
主体的に学習に取り組む態度	・「書くこと」において、目的や意図に応じて実社会の中から適切な材料を集め、情報の妥当性や信頼性を吟味しているかを評価する。 ・「書くこと」において読み手の理解が得られるよう文章を展開しているかを評価する。		・資本主義社会における広告の役割と広告が生み出す過剰な「差異」について理解し、広告の「形而上学的な奇妙さ」に気づき、広告の特質について自分の考えをまとめようとしている。		考査に向けての取り組みが見られない場合に限り、評価に反映	
月	1 2 月		1 月		2 月	
科目名	単元	単元		単元	3 月 年間	
現代の国語	論証してレポートを書く	科学から見た人間 「Ａ」はなぜ椅子に座れないのか		科学から見た人間 「Ａ」はなぜ椅子に座れないのか	学年末考査	総合評価
知識・技能	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っているかを評価する。 ・文、話、文章の効果的な組み立てや接続の仕方について理解しているかを評価する。		・常用漢字の読みになれ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っているかを評価する。 ・語句の意味を調べ、実社会において理解したり表現したりするために必要な語彙の量を増やし、話や文章の中で使っているかを評価する。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解しているかを評価する。		単元 読解編 5「Ａ」はなぜ椅子に座れないのか」の語句に関する問い約30点分	
思考・判断・表現	・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えているかを評価する。 ・「書くこと」において読み手の理解が得られるよう文章を展開しているかを評価する。		・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、段落の要点を把握しているかを評価する。 ・「特徴を表現するという方法」に欠けている「重要な視点」を読み取ることができ、「意図」についての理解との関係を考えようとしているかを評価する。 ・筆者の主張と「人工知能」について述べられた他の文章を関連付けながら、自分の考えを深めているかを評価する。		単元 読解編 5「Ａ」はなぜ椅子に座れないのか」の内容に関する思考問題、判断問題約70点分	
主体的に学習に取り組む態度	・進んでテーマに関することを調べ問いを立て、論点を整理し論証を行ってレポートを書く活動をしている。		・粘り強く筆者が定義する内容を理解しようとしているかを評価する。 ・本文に沿って設けられた学習課題に主体的に取り組もうとしている。 ・筆者の考える「自らの人生を生きる」という行為を理解し、自分の考えを深めようとしている。		考査に向けての取り組みが見られない場合に限り、評価に反映	